

子供のねがい!親のねがい!

昔の親も今の親も、子供の健やかな成長を願い、子供にとって良い親であらうとする気持ちは同じです。子供も親に愛され、また、家族みんなで楽しく過ごすことを望んでいます。

「楽しい家庭」を築くには、家族全員が協力し合わなければなりません。子供にとって心安らぐ家庭となるために、家庭を見つめなおしてはいかがでしょうか?



家庭教育

すべての教育の出発点です!

基本的な倫理観、社会的なマナー、自立心や自制心などを育成する上で重要な役割を担っています。

「親の学習」の背景となる基本的な考え方

「親の学習」は、「このように子育てをください」と押しつけるものではありません。子育てに関して「どのようなやり方や考え方があるのか」を知り、「自分の家庭ではどのような子育てがよりよいのか」をじっくりと考える機会となるものです。

はじめから十分な子育てができる人はいません。
親も一つずつ学んでいきましょう。



「親の学習」ではこんなプログラムで進めます。

- ### 「親の学習」の特徴
- 子供の発達段階にあわせた、埼玉県が独自に開発した25のプログラムを活用して行います。
 - 一方的に講義を受ける「座学」ではなく、参加者がプログラムに積極的にかかわる「参加型学習」を基本にしています。
 - 参加者が小グループを作り、意見交換やロールプレイング、役割演技など体験的な学びを交えて、楽しく学習します。
 - 学習をとおして親どうしの交流のきっかけを作ります。交流による親どうしのつながりで、安心も生まれます。
 - どの家庭にでもありがちなエピソードから、その登場人物の気持ちを考えて、自分の家庭を振り返ります。ですから、自然に子育てについて学ぶことができます。

対象に応じた25のプログラム

対象	プログラム名	プログラム番号
中学生 高校生	家族って何だろう?	1-①
	幼児を知ろう	1-②
	お母さんになるってどんな感じ?	1-③
	子どもを育てるって?	1-④
	乳幼児とふれあう	1-⑤
すべての 保護者	あなたにとっての「子育て」とは?	2-①
	子どもの育ち・子どもの目線で見てみよう	2-②
	「しつけ」ってなに?	2-③
	父親の出番?母親の出番?	2-④
	地域とのかかわりってなに?	2-⑤
乳幼児の 保護者	はじめまして、こんにちは	3-①
	子どもと一緒に生活習慣をつくらう	3-②
	子どもと遊ぶ	3-③
	こんなときどうするの?どうしたらいいの?	3-④
	ステップ・バイ・ステップ	3-⑤
小学生の 保護者	6年間の大きな成長	4-①
	子どもが元気になる生活リズムとは?	4-②
	育ちあい、話して深める親子関係	4-③
	社会マナーやルールは家庭から	4-④
	子どもと夢を語りましょう	4-⑤
中学生・ 高校生の 保護者	子どもでもない大人でもない	5-①
	デートの誘いはありますか?	5-②
	家族との絆・地域へのボランティア	5-③
	「我が子に限って」は危険です	5-④
	今どきの子どもの友人関係?	5-⑤

「親の学習」プログラム

4-③

育ちあい、話して深める親子関係

親と子を結ぶものはいろいろ考えられます。親子のコミュニケーションは、食事が体をつくるのと同じくらい、子どもの心をつくっていきます。日ごろのあなたの言葉かけは、子どもの心育ちにどんな栄養を提供していますか。ここでは、あなたが投げかける言葉かけについて考え、会話を点検してみましょう。

ワーク
1

あなたのお子さんが学校から帰ってきました。

「テストを返されたよ。」と言って、うつむきながらあなたに算数のテストを2枚渡しました。2枚ともあなたが期待していた点数よりも低い点数でした。

以前から点数のことが気になっていたあなたは、お子さんにどんな言葉をかけますか。

次のポイントを参考にしながら、グループで話し合ってみましょう。

ポイント1 子どもはどんな言葉を期待しているのでしょうか。

ポイント2 学習意欲を高めるためには、どんな言葉かけがふさわしいのでしょうか。

ポイント3 子どもが学び方を身につけるためには、どんなアドバイスが考えられるでしょうか。

グループで推薦する言葉かけを選びましょう。

その言葉は、子どもをどんな気持ちにさせますか。

ワーク
2

親子の会話では、子どもの気持ちをつかみながら、話し方を変える必要があります。次のような時、どんなことに気をつけて話しかけますか。グループごとに話し合ってみましょう。

ゲームをしたりテレビを見たりすることが多く、本を読むことや学習することにも目を向けて欲しい。



①あなたの考えた言葉かけは何ですか?

②グループの中で発表し合い、よかった言葉かけを選びましょう。また、選んだ理由についても話し合ってみましょう。

③よかった言葉かけをグループごとに発表しましょう。